

黒川 征一 (くろかわ・せいいち)

旧池田町職員。自治労全国町村評議会議長などを歴任し、1999年退職。1999年4月の県議選で初当選。4期連続当選し、県監査委員などを務めた。池田町中西。



このたび、市民の皆様のご支援をいただき、三好市長に就任しました黒川征一です。

これから4年間、「住んでよかった 住み続けたい三好市」を目指し、新生三好市の舵取りを任せられました。市民の皆様の声を反映した市政運営を行い、皆様から寄せられました信頼と期待にお応えいたしたく努力してまいります。

選挙公約として掲げました中で「交流拠点施設（音楽ホール）」建設につきましては、中止し、船井哲良船井電機会長にご説明、ご理解頂き、違った形の交流できるもの・場所として検討を進めてまいります。

また、他の条例改正、制度・手続き改正、予算の伴うものにつきましては、原則、平成26年度に実施できるように取り組んでまいります。選挙での公約は、必ず

実践いたしますので、ご協力をお願いいたします。

私の市政への取り組み方は、「オプザピープル」は、「オプザピープル」による市民の市民による「市民のための行政」を基本とし、市民感覚、市民目線を大切に物事を進めてまいります。イギリスの政治学者ジェームス・ブライスは、「地方自治は民主主義の最良の学校であり、その成功の最良の保証人である」と言っています。

これは、地方行政への住民参加は、共同・共通の問題を市民と共に公正に処理し、また、市民に関心を持ってもらうのに有効であることとを言っております。

市民の皆さんの市政への参画、対話が重要であると考えており、健全な地域社会の形成には必要であると考えております。また、そういう意味も込めて、市役

所の接遇についても職場が風通しのいい、明るい、市民が来て変わったなという、市民が訪れ易い、相談しやすい職場づくりに努めてまいります。

あらためて市政全般を精査してまいります。これまでの市政運営について踏襲できるものは引き続き推進し、見直しが必要なものについては、市民の皆様、市議会、職員のご意見をお聞きしながら改めてまいります。

「この街に住んでよかった 生まれてよかった 訪れてよかった」といわれる三好市を創る所存であります。皆様のご意見やご声援を糧として市政運営を進めてまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻と叱咤激励を賜りますようお願いを申し上げます。就任のごあいさつといたします。

市長就任のごあいさつ

三好市長

黒川 征一



公約実現に向けて 黒川市政がスタート

市長の登庁初日

黒川市長は7月24日、8時30分に初登庁し、職員に大きな拍手で迎えられ、花束を受け取りました。就任式では幹部職員へ訓示を行い、その後、記者会見を開きました。



三好市長選挙 開票結果 (最終)

当	9,555	黒川 征一 (65歳 無所属 新人)
	9,259	武川 修士 (63歳 無所属 新人)
	164	喜志 久 (62歳 無所属 新人)
当日有権者数	25,594人 (男 11,781人、女 13,813人)	
投票者数	19,230人 (男 8,833人、女 10,397人)	
投票率	75.13% (男 74.98%、女 75.27%)	

俵徹太郎市長の辞職に伴う市長選挙が、7月21日に投開票されました。3人の候補者が選挙戦を争い、交流拠点施設建設に反対の立場の無所属新人で元県議の黒川征一氏が当選しました。

投票率は75.13% (前回84.53%) でした。